

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	株式会社千広				
事業所の名称 (施設名)	ふあみさぽこ鹿児島南				
事業所番号	4650100466				
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島県鹿児島市西谷山二丁目9番18号				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 28 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓2にURLを記載
	2. 内容	https://famisapo-coco.com/
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	山下 ゆかり
連絡先 (TEL)	090-5933-7604

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふぁみさぽこ鹿児島南		
○保護者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40人	(回答者数) 25人
○従業者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者満足度	ご利用者と保護者のニーズに合わせた支援と、個別支援計画に沿った活動提供を行っている	活動内容をより充実したものとしていく為に、職員間の話し合う場を設定し、より専門的な知識を持って支援を行っていく為に、事業所内での研修実施や、外部研修へ積極的に参加していく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応	非常時の対応について、保護者への周知が十分にできていない。	非常時の対応について、契約時や面談時の説明を行っている。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふぁみさぼこ鹿児島南		公表日 令和8年2月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		利用者全体を見渡せるような環境設定を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		支援が行き届くような工夫を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		バリアフリーな環境設定となっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日清掃、消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要に応じてパーティションで部屋を区切る事や、相談室が使用できる環境設定となっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎日の朝礼や終礼、月一回の事業所内会議において振り返りと意見交換を行い、職員全体でPDCAサイクルを意識した支援改善に取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年自己評価表を配布し、意向を把握し、職員間で共有、検討することで業務改善に活かしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		朝礼や終礼時、毎月一回の1on1面談を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		事業所内研修や1、3年目研修を行っている。外部研修および会社全体の受講機会を確保している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメント等で保護者やご利用者からのニーズの聞き取りを行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		事業所内会議において職員間で意見を出し合い協議し、計画作成に反映している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		事業所内会議や朝礼、終礼時に計画を共有し、日々の支援で確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		利用開始時、モニタリング面談時にアセスメントシートを使用し、計画へ反映している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドライン、ご利用者と保護者のニーズに合わせた計画を立てている。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		五領域を基盤に、職員間で話し合い、活動プログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		五領域に沿って、季節を感じるものやご利用者の意見も反映しながら、固定化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		内容に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼や終礼時に危険予測を含めた確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼時に一日の振り返りの時間を確保している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録を活用し、支援の振り返りと改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回モニタリングを行い、支援計画を見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動時間や宿題へ取り組む時間を、ご利用者自身で決められるように声掛けを行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議へ児発管と共に同行している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて学校面談を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		情報把握に努めている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送迎時や面談時に実施している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者のご意見に合わせて引き続き検討していく。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			見学時や契約時に説明を行っている。ホームページにも記載している。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		事前にアセスメントを行い、意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画作成後は内容を掲示しながら説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		お悩みがある際には職員間で共有を行い、随時面談を実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			親子イベント等を実施していた為、引き続き立案と検討を行っている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月お知らせをしており、保護者が確認出来るようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		情報漏れがない様に鍵付きの書棚に保管し鍵の保管場所の確認を徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在は発表会への招待を行っており、今後は地域住民との交流について、必要に応じて検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		研修で確認している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時保護者と情報共有をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時保護者と情報共有をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を基に研修と訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		終礼時に共有や改善に向けた話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会開催や研修を行い、支援内容の振り返りや改善に向けた話し合いを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化に関する指針に基づいて作成している。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					
ふぁみさぼこ 鹿児島南		令和8年2月28日					
		利用児童数 40				回収数 25	
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22		1	2		ご利用者の人数に合わせた机と椅子の配置や、パーティションを使用して部屋を区切る等の工夫を行っております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18			7		現在は管理者、児童発達支援管理責任者、保育士1名、児童指導員2名配置しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23				2	玄関のバリアフリー化や、室内とトイレ内にも手すりを付けております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24				1	毎日の清掃、消毒を実施しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			1		
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	2				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	5	5	5		外出時等は、地域の子どもたちと一緒に交流する機会があります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1	1	5		ペアレントトレーニングは行っておりませんが、面談時に助言等を行っている。今後、研修会も検討していく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	25					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24				1	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	2	2	7		昨年度までは親子イベントを実施させていただきました。今後も検討して参ります。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24		1			ご相談を受けた際の対応について、改めて職員間で共有し、迅速かつ丁寧な対応が出来るように努めて参ります。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1		2		意思の疎通や情報伝達方法について、丁寧かつ配慮のあるものとなっているかを改めて職員間で共有し、見直しを図ります。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	1		3		アプリを通して随時情報発信を行っております。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23			2		事業所内の職員室内において、鍵付きの書庫を用い、個人情報の漏洩に十分に注意し、取り扱いを徹底しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2		6		マニュアルは策定し、事業所内で保管を行っておりますが、保護者への周知へは至っておりませんので、周知・ご説明させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			6		年に2回避難訓練の実施を行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		4		事故発生時には、ご利用者の状況に合わせて迅速かつ丁寧な説明が出来るように、引き続き真摯な対応を行って参ります。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25					
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	4		1		保護者やご利用者のニーズを十分に取入れた活動提供が行えるように、引き続き支援の見直しと立案を行って参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25					